

船舶事故等調査報告書

平成21年3月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

| | | |
|--------------|---|---|
| 事故等番号 | 2008神第85号 | |
| 事故等名 | 押船新土佐丸被押バージ黒潮乗揚 | |
| 発生年月日時刻 | 平成20年9月23日17時40分ごろ | |
| 発生場所 | 高知港四国鉱発棧橋付近 | |
| 事故等調査の経過 | 調査の概要:平成20年12月19日 神戸・地方事故調査官が海難報告書を精査し、船舶所有者から損傷状況を電話聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし | |
| 事実情報 | | |
| 船種・船名・総トン数 | A 押船 新土佐丸 130トン | |
| 船舶番号 | 135870 | |
| 船舶所有者等 | 親和内航海運株式会社、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | |
| 船種・船名・総トン数 | B バージ 黒潮 5, 500トン積 | |
| 船舶番号(IMO 番号) | なし | |
| 船舶所有者等 | 黒潮海運株式会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | A 船長 四級海技士(航海) | |
| | | |
| | | |
| 負傷者 | A なし | |
| | | |
| 損傷 | A コルトラダーにき裂 | |
| | B なし | |
| 事故等の経過 | A船は、高知県高知港の四国鉱発棧橋で石灰石5, 500トンを積載したB船を押航し、広島県福山港へ向けて出港するために離棧中、平成20年9月23日17時40分ごろ、A船の船底に衝撃を受けた。 気象・海象は平穏であった。 | |
| 分析 | 気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析 | なし あり なし A船は、離棧した棧橋が河口に位置することから、不測の堆積物にA船の船底が接触した可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、A船がB船を押して離棧中、不測の堆積物の上部を航行したため、同堆積物に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。 | |
| その他の事項 | なし | |